

コーパスを利用した複合動詞 「V1-抜く」と「V1-抜ける」の意味分析

杉 村 泰

キーワード：コーパス、複合動詞、「V1-抜く」、「V1-抜ける」、日本語教育

1. はじめに

前稿（杉村 2013、『言語文化論集』35-1）では、日本語の複合動詞「V1-抜く」について分析し、「V1-抜く」は次の4種9類の意味に分類されることを指摘した。

「V1-抜く」の意味

- (i) 〈主体〉が〈所属先〉から〈所属物〉を引き出す
 - ①抜出「引き抜く」、②選抜「引き抜く」「選び抜く」「書き抜く」
- (ii) 〈主体〉が〈道具〉によって〈対象〉からその一部を切り出す
 - ③穿孔「染め抜く」「切り抜く」「踏み抜く」「射抜く」、④看破「見抜く」
- (iii) 〈主体〉が〈対象〉を突破する
 - ⑤貫通「射抜く」、⑥追い抜き「追い抜く」「出し抜く」、⑦突破「勝ち抜く」
- (iv) 〈主体〉が行為を完遂する、〈主体〉の精神的状態が極限に達する
 - ⑧完遂「生き抜く」「考え抜く」「守り抜く」、⑨極度「惚れ抜く」「困り抜く」「知り抜く」

これに引き続き、本稿ではまず同じ完遂または極度の意味を持つ「V1-切る」、「V1-尽くす」、「V1-通す」と「V1-抜く」の違いについて論じる。次に「V1-抜く」と形態的に自他の対応を持つ「V1-抜ける」の意味について論じる。

2. 完遂・極度の意味を表す「V1-抜く」

上記の「V1-抜く」のうち、(i)～(iii)の「V1-抜く」は物理的な移動を表し、(iv)の「V1-抜く」は事態のアスペクト的な意味と関わる点で区別される。この点において「V1-抜く」は「V1-切る」、「V1-尽くす」、「V1-通す」と共通している。そこで本節ではアスペクトを表す「V1-切る」、「V1-尽くす」、「V1-通す」、「V1-抜く」の意味の違いに

ついて見ることにする。

「V1-切る」、「V1-尽くす」、「V1-通す」、「V1-抜く」は同じように完遂・極度の意味を表す複合動詞である。しかし、杉村（2008, 2009, 2012, 2013）のコーパス調査の結果からも分かるように、それぞれ共起しやすい V1 に違いがある。これを「V1-抜く」の出現数上位 60 語を基準にして比較すると表 1 のようになる。

コーパス：インターネットの WWW ページ

検索エンジン：goo のフレーズ検索 (<http://www.goo.ne.jp/>)

検索日：「-切る」(2007.2.16～2007.3.21) (杉村 2008 参照)

「-尽くす」(2009.2.21～2009.3.8) (杉村 2009 参照)

「-通す」(2007.2.10～2007.2.12) (杉村 2012 参照)

「-抜く」(2007.2.3～2007.2.7) (杉村 2013 参照)

検索方法：前項動詞は『日本語基本動詞用法辞典』にある 852 語を含む 1,068 語。後項動詞は「切る、尽くす、通す、抜く」の「～する、～した、～しない、～しなかった、～します、～しました、～しません、～して」形を検索した。

表 1 には「引き抜く」や「切り抜く」のように物理的な移動を表すものも含まれているが、ここではアスペクトを表す「V1-抜く」について、V1 に「動作動詞」、「変化動詞」、「状態進展動詞」のいずれが来やすいかを見る¹⁾。表 1 を見ると、「V1-抜く」の V1 には「生きる」、「勝つ」、「考える」、「守る」、「戦う」、「耐える」、「走る」、「悩む」、「戦う」、「苦しむ」、「投げる」、「頑張る」など事態の継続に主体の頑張りが必要とされる動作動詞が来やすいことが分かる。一方、変化動詞は「信じる」があるぐらいで「*諦め抜く」、「*治り抜く」とは言いにくい。状態進展動詞も「知る」²⁾、「愛する」、「惚れる」、「困る」があるぐらいで「*疲れ抜く」、「*冷え抜く」、「*太り抜く」とは言いにくい。状態進展動詞の場合、主体の心理的な感情を表すものが来やすいことが分かる。

また、「V1-切る」、「V1-尽くす」、「V1-通す」、「V1-抜く」のうち、「V1-切る」と「V1-尽くす」は広い意味で V1 の達成による対象の消費を表すのに対し、「V1-通す」と「V1-抜く」は障害を乗り越えて V1 を継続することを表すという違いがある。このうち、後者については、「V1-通す」は行為の時間的継続に焦点が当たり、動作動詞には付くが変化動詞や状態進展動詞には付かないのに対し、「V1-抜く」は時間的継続ではなく事態の突破に焦点が当たり、事態の継続に主体の頑張りが必要とされる動作動詞や主体の感情を表す状態進展動詞が来るという違いがある。(森田 1989、田他 1998、姫野 1999、陳 2011 参照)

表1 「V1-抜く」、「V1-通す」、「V1-尽くす」「V1-切る」の出現数の比較 (WWW ページより)

	V1	出現数					V1	出現数			
		抜く	通す	尽くす	切る			抜く	通す	尽くす	切る
1	生きる	149,810	168	294	2,368	31	売る	344	0	3,492	16,786
2	見る	141,018	77,118	8,314	22,428	32	繰る	341	0	0	0
3	勝つ	127,734	7	6	2,703	33	惚れる	304	2	18	13
4	引く	71,424	111	25	344	34	読む	278	14,671	6,529	16,204
5	切る	58,386	574	376	0	35	歩く	268	4,968	2,151	329
6	追う	46,271	6	7	465	36	彫る	242	2	25	5
7	考える	31,473	26	3,353	32	37	踊る	143	119	160	198
8	守る	29,562	11,911	95	3,639	38	働く	139	255	109	11
9	やる	29,120	12,830	19,232	5,717	39	責める	125	2	808	9
10	選ぶ	28,425	3	62	33	40	調べる	124	3	8,215	42
11	戦う	24,921	58	159	158	41	吹く	120	118	46	153
12	出す	16,908	1	25,309	45,418	42	困る	116	0	6	303
13	振る	16,556	13	16	55,988	43	引っ張る	115	10	1	24
14	耐える	15,350	0	11	1,173	44	描く	103	68	2,655	7,224
15	射る	14,720	197	82	39	45	押す	96	27,656	6	63,359
16	打つ	13,212	44	1,565	75,630	46	駆ける	75	17	1	4
17	撃つ	7,552	2	6,975	157	47	遣る	73	290	91	36
18	走る	5,992	679	667	4,295	48	蹴る	71	5	0	4
19	悩む	5,118	65	181	18	49	迷う	69	1	18	7
20	闘う	4,436	14	39	28	50	語る	62	67	53,391	174
21	知る	3,139	6	267,415	16	51	堪える	60	2	0	17
22	苦しむ	2,250	21	12	1	52	泳ぐ	53	20	14	1,104
23	投げる	1,829	66	128	710	53	歌う	50	231	1,611	1,036
24	信じる	1,254	55	37	3,324	54	嫌う	49	0	1	0
25	頑張る	1,169	806	68	0	55	通す	46	1	7	40
26	書く	863	170	5,161	918	56	逃げる	45	105	5	48,288
27	掘る	813	17	2,172	107	57	遊ぶ	43	123	14,111	66
28	磨く	480	3	28	25	58	言う	42	337	7,769	176,818
29	愛する	450	0	955	16	59	滑る	42	42	140	200
30	攻める	403	11	94	292	60	焼く	39	7	43,758	2,942

以下、「V1-切る」、「V1-尽くす」、「V1-通す」、「V1-抜く」の意味についてまとめておく。

「V1-切る」

・「行為の完遂」

動作動詞に付いて、当該の事態を最後までやり残しなく完全に行うことを表す。

(例) 走り切る、食べ切る、使い切る、意見を押し切る、難局を乗り越切る、耐え切る、待ち切れない、守り切る、隠し切る

・「変化の達成」

変化動詞に付いて、当該の変化が最後まで滞りなく生じることを表す。

(例) 諦め切る、治り切る、信じ切る、死に切れない、日が暮れ切る、氷が溶け切る、煮え切らない態度

・「極限状態」

状態進展動詞に付いて、すでに成立している状態が質的にさらに深まってそれ以上は進まない限界に達していることを表す。

(例) 疲れ切る、冷え切る、困り切る、濁り切る、澄み切る、広がり切る、太り切る、頼り切る、仕事に張り切る、下がり切る

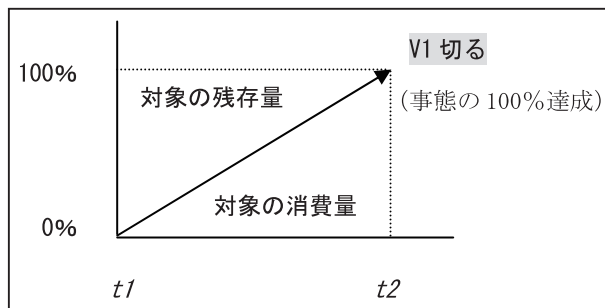


図1 「V1-切る」のイメージ

(例)

「走り切る」: 残り距離の消滅

「食べ切る」: 料理の消滅

「諦め切る」: 期待の消滅

「治り切る」: 傷や病気の消滅

「疲れ切る」: 元気の消滅

「冷え切る」: 温かみの消滅

「V1-尽くす」

・「複数事態の完遂」

動作動詞に付いて、複数の事態において前項動詞で表される行為を一つ一つ成し遂げていき、100 パーセント達成されることを表す。

(例) 覆い尽くす、食い尽くす、知り尽くす³⁾、遊び尽くす、行き尽くす、(アイデアが) 出尽くす、(果然と) 立ち尽くす

(変化動詞や状態進展動詞には付きにくい)

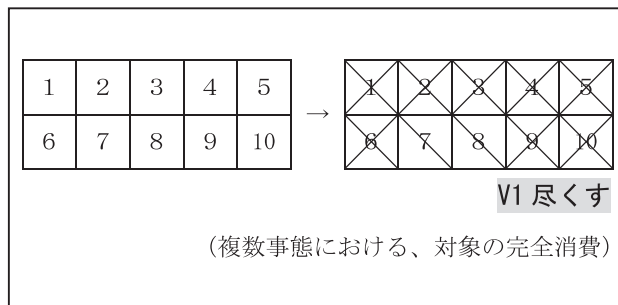


図2 「V1-尽くす」のイメージ

(例)

「覆い尽くす」: 覆い残しがない

「食い尽くす」: 食べ残しがない

「遊び尽くす」: 遊び残しがない

「出尽くす」: 出残りがいい

「立ち尽くす」: 動く気配がない

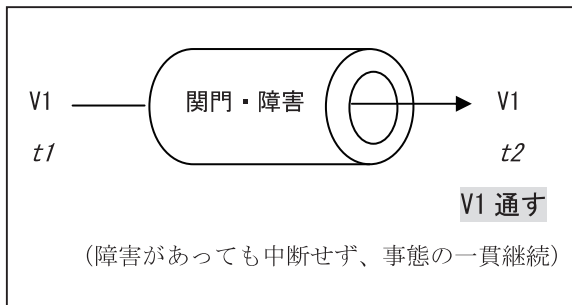
「V1-通す」

・「行為の一貫継続」

動作動詞に付いて、主体が障害に打ち勝ち、V1 の行為を最後まで諦めずに継続して行うことを表す。

(例) (主張を) 押し通す、読み通す、守り通す、(義理を) 立て通す

(変化動詞や状態進展動詞には付きにくい)



(例)

「押し通す」: 最後まで諦めずに押す

「読み通す」: 最後まで諦めずに読む

「守り通す」: 最後まで諦めずに守る

図3 「V1-通す」のイメージ

「V1-抜く」

・「行為の完遂」

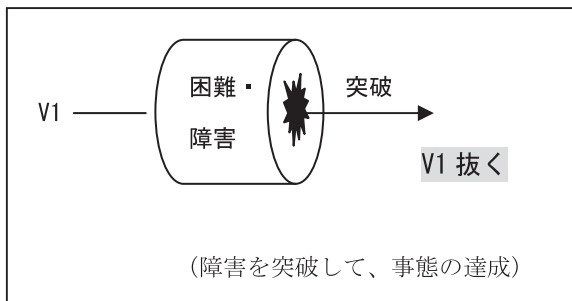
動作動詞に付いて、主体が自分に降りかかる困難な事態を振り払い、V1 の目的を成し遂げることを表す。

(例) 生き抜く、勝ち抜く、考え抜く、守り抜く

・「極度」

主体の感情を表す状態進展動詞に付いて、主体の精神的状態が途中で止まらずに極限まで達することを表す。(一般的水準を突き抜けた感情を表す)

(例) 知り抜く、愛し抜く、惚れ抜く、困り抜く



(例)

「生き抜く」: 死なずに生き残る

「考え抜く」: とことん考える

「守り抜く」: 屈服せず最後まで守る

「知り抜く」: 徹底的に知る

「困り抜く」: とことん困る

「惚れ抜く」: 徹底的に惚れる

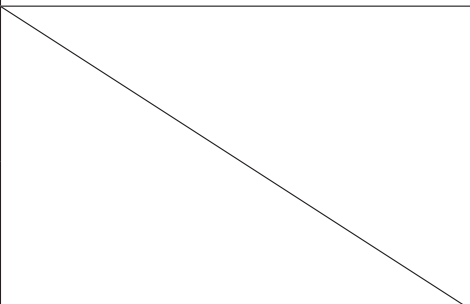
図4 「V1-抜く」のイメージ

3. 本動詞「抜ける」と複合動詞「V1-抜ける」

次に複合動詞「V1-抜ける」の意味について論じる。杉村（2013）の表1に示したように、本動詞の「抜く」と「抜ける」は「歯を抜く（他動詞）→歯が抜ける（自動詞）」のように自他の対応をする場合があるほか、「抜ける」には「トンネルを抜ける」のように意志的自動詞の用法もある。これに対し、複合動詞の場合は「歯を引き抜く→*歯が引き抜ける（「歯が引き抜かれる」なら可）」のように自他の対応をせず、「V1-抜ける」は基本的に「矢が的を突き抜ける」や「人がトンネルを通り抜ける」のような意志的自動詞の用法のみ成立する。これを表2に示す。

表2 本動詞「抜ける」と複合動詞「V1-抜ける」（杉村 2013 の表1より抜粋）

<p>①脱落</p> <p>①-1 所属先カラ所属物ガ離脱・脱落する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口から歯が<u>抜ける</u>。 ・（板から釘・指から刺・瓶から栓・風呂から水・トンネルからガス・体からアルコール・服からしみ・生地から色・柿から渋）が<u>抜ける</u>。 ・（腰から刀・名簿から名前・本からページ）が<u>抜ける</u>。 ・*（畑から大根・財布から千円札・政治から足）が<u>抜ける</u>。 <p>※所属物に所属先から自然に離脱する性質がある場合か、不注意による脱落の場合にしか使えない。</p> <p>※一般によく使われる「コンセントが抜ける」は「プラグが抜ける」の誤り。</p>	<p>③穿孔</p> <p>③-1 道具デ対象ガある形ニ切り出される</p> <ul style="list-style-type: none"> ・染料で下地が白く<u>抜ける</u>。（自発性あり） ・*型でクッキーが星形に<u>抜ける</u>。（自発性なし） ・*パンチで紙が<u>抜ける</u>。（自発性なし） ・*矢で的が<u>抜ける</u>。（自発性なし） <p>③-2 道具デ対象ニ穴が開く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・染料で下地に模様<u>が抜ける</u>。（自発性あり） ・*クッキーの型が<u>抜ける</u>。（自発性なし） ・*パンチで紙に穴<u>が抜ける</u>。（自発性なし） ・*矢で的に穴<u>が抜ける</u>。（自発性なし） <p>③-3 人や物や自然変化デ対象が突き破られる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供が暴れて床が<u>抜ける</u>。 ・火事の炎で天井が<u>抜ける</u>。 ・{中身が重すぎて/古くなって}、バケツの底が<u>抜ける</u>。
<p>①-2 同種の物の中カラ一部ガ離脱・脱落する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・*製品から不良品が<u>抜ける</u>。（自発性なし） ・トランプの山からカードが一枚<u>抜ける</u>。（無意識のうちの離脱・紛失） 	<p>③-4 空ガ曇りなく透き通る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空が<u>抜ける</u>ように青い。 <p>④貫通</p> <p>④-1 物ガ対象ヲ突き通る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矢が的を<u>抜ける</u>。（c.f. 突き抜ける）
<p>①-3 人材ガ所属先カラ流出する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B社からエリート社員が<u>抜ける</u>。 	<p>④-2 ボールガ敵の守備ヲ突き通る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打球が三遊間（センターの頭上）を<u>抜ける</u>。 <p>（c.f. 転がり抜ける、突き抜ける）</p>

<p>①-4 所属先カラ籍ガ離脱する (⑨-2 参照)</p> <p>・私は結婚して、親の戸籍から籍が<u>抜けた</u>。</p>	<p>⑤通り抜け</p> <p>A地点からB地点まで交通路が通じる</p> <p>・山のこちら側から向こう側までトンネル (道・鉄道) が<u>抜けている</u>。(c.f. 通り抜ける)</p>
<p>①-5 心身カラ気持ちや力や性質ガ流出する</p> <p>・彼は気が<u>抜けた</u>。</p> <p>・彼は体から力が<u>抜けた</u>。</p> <p>・彼から子供っぽさが<u>抜けた</u>。</p>	<p>⑥卓抜</p> <p>人や物の能力や質ガ同類他者ヲ超越する</p> <p>・彼は社内で頭一つ<u>抜けている</u>。</p> <p>・彼の成績はクラスで頭一つ<u>抜けている</u>。</p> <p>(c.f. 飛び抜ける、突き抜ける)</p>
<p>①-6 人の腰ガ脱力して立たなくなる</p> <p>・彼は驚いて腰が<u>抜けた</u>。</p>	<p>⑦突破</p> <p>⑦-1 人が抵抗する障害物ヲ突き通る</p> <p>・騎馬隊が敵陣 を/*から <u>抜ける</u>。</p> <p>・老紳士が人ごみの中 を/*から <u>抜ける</u>。</p> <p>(c.f. 走り抜ける、通り抜ける)</p>
<p>①-7 人に知力が不足している</p> <p>・彼は (頭が) <u>抜けている</u>。</p> <p>・彼女は間が<u>抜けている</u>。</p>	<p>⑦-2 人が勝負で勝ち進む</p> <p>・じゃんけん大会で10人<u>抜ける</u>。(c.f. 勝ち抜ける)</p>
<p>②省略</p> <p>一連の行為の中カラ一部の行為ガ省かれる</p> <p>・一日ぐらい風呂が<u>抜けて</u>も死なない。</p> <p>・食事 (挨拶・説明) が<u>抜ける</u>。</p> <p>・将棋で肝心の手が<u>抜けている</u>。</p>	<p>⑧通過</p> <p>人や風ガ經由地ヲ突き通る</p> <p>・人が裏道 (トンネル) を/*から <u>抜ける</u>。</p> <p>(c.f. 通り抜ける)</p> <p>・風が家の中を を/*から <u>抜ける</u>。</p> <p>(c.f. 吹き抜ける)</p>
	<p>⑨離脱</p> <p>⑨-1 人が所属先 ヲ/カラ 離れる・逃げる</p> <p>・彼女は列 (会社・宴席・暴走族) を/から <u>抜けた</u>。(c.f. 切り抜ける、言い抜ける)</p>
	<p>⑨-2 人が所属先カラ外に出る (①-4 参照)</p> <p>・私は結婚して、親の戸籍 から/を <u>抜けた</u>。</p> <p>・蟬が殻 (人が因習) から/を <u>抜けた</u>。</p> <p>・泥棒が窓 (裏口) から/を <u>抜けた</u>。</p>

4. コーパス調査

4.1 CD-ROM 版「新潮文庫の100冊」の検索結果

次に、コーパスを利用して複合動詞「V1-抜ける」の前項動詞 (V1) にいかなる動詞が来るかを見る。本稿では CD-ROM 版「新潮文庫の100冊」とインターネットの WWW

ページをコーパスとして利用した。このうち、CD-ROM 版「新潮文庫の 100 冊」からは全 374 例、前項動詞の異なり語数で 19 語の「V1-抜く」が抽出された。これは「V1-抜く」が全 416 例、前項動詞の異なり語数で 72 語であったのに比べて少ない数字である。その概要を以下に示す。

コーパス：CD-ROM 版『新潮文庫の 100 冊』

検索対象：日本人作家による 67 冊

検索方法：「抜ける」、「ぬける」について活用形を含めて全て検索し、その中から複合動詞「V1-抜ける」を手作業で抽出した。

検索結果：同じ V1 を取るもの同士まとめて表 3 に示す⁴⁾

表 3 「V1-抜ける」の出現数（『新潮文庫の 100 冊』）
（全 374 例、異なり語 19 語）

		出現数			出現数
1	通り抜ける	138	11	言い抜ける	2
2	突き抜ける	40	12	馳せ抜ける	1
3	駆け抜ける	38	〃	歩き抜ける	1
4	すり抜ける	33	〃	斬り抜ける	1
5	くぐり抜ける	28	〃	燃え抜ける	1
6	切り抜ける	27	〃	泣き抜ける	1
7	吹き抜ける	23	〃	呑み抜ける	1
8	走り抜ける	22	〃	疾り抜ける	1
9	飛び抜ける	10	〃	起き抜ける	1
10	滑り抜ける	5			

4.2 Web 検索の結果

次にインターネットの WWW ページをコーパスとして「V1-抜く」の前項動詞（V1）の特徴を見る。WWW ページをコーパスとすることに関しては、「不自然な表現が混じる」、「文体差が見にくい」、「データの保存性が悪い」などの批判もある。しかし、「大規模データを検索することにより、普段あまり使わない表現を抽出することができる」、「書き言葉から話し言葉まで日本語の総体をひっくるめて検索できる」、「自然な表現から不自然な表現までどれくらいの頻度で出現するかを見ることができる」などの利点もある。以下に本稿における Web 検索の概要を記す。

コーパス：インターネットの WWW ページ

検索エンジン：goo のフレーズ検索 (<http://www.goo.ne.jp/>)

検索日：2013 年 6 月 1 日～2013 年 7 月 28 日

検索方法：前項動詞は『日本語基本動詞用法辞典』にある 852 語を含む 1,074 語を対象とし、これらと「抜（ける、けた、けない、けなかった、けます、けました、けません、けて）」の 8 つの活用形との共起について検索した。表 4 にはその合計ヒット数を示してある。

今回調査した 1,074 語の動詞のうち、「V1-抜ける」と 1 件以上共起したものは 85 語であった。これは「V1-抜く」の 295 語に比べて少ない数字である。表 4 に「V1-抜ける」の検索結果を示す。これと先の CD-ROM 版『新潮文庫の 100 冊』の検索結果を比較すると、上位に出現する「V1-抜く」は共通していることが分かる。

表 4 「V1-抜ける」の出現数上位 62 語 (WWW ページより)

	V1-抜ける	出現数		V1-抜ける	出現数		V1-抜ける	出現数
1	駆け抜ける	732,629	21	泳ぎ抜ける	181	41	貫き抜ける	23
2	突き抜ける	430,891	22	燃え抜ける	173	42	逃げ抜ける	20
3	通り抜ける	328,657	23	踊り抜ける	136	43	緩み抜ける	20
4	走り抜ける	214,657	24	流れ抜ける	93	44	抜け抜ける	19
5	切り抜ける	200,231	25	登り抜ける	86	45	這い抜ける	19
6	飛び抜ける	183,160	26	出抜ける	80	46	売れ抜ける	18
7	吹き抜ける	165,340	27	繰り抜ける	73	47	上り抜ける	17
8	勝ち抜ける	89,484	28	起き抜ける	60	48	食べ抜ける	15
9	潜り抜ける	49,872	29	負け抜ける	55	49	漏れ抜ける	12
10	売り抜ける	37,537	30	転がり抜ける	53	50	噴き抜ける	11
11	生き抜ける	11,972	31	焼け抜ける	47	51	書き抜ける	10
12	擦り抜ける	5,972	32	買い抜ける	44	52	輝き抜ける	9
13	滑り抜ける	1,514	33	渡り抜ける	44	53	舞い抜ける	9
14	言い抜ける	1,349	34	下り抜ける	40	54	食い抜ける	7
15	踏み抜ける	872	35	蹴り抜ける	33	55	焼き抜ける	7
16	跳び抜ける	723	36	払い抜ける	33	56	急ぎ抜ける	6
17	歩き抜ける	663	37	歌い抜ける	25	57	枯れ抜ける	6
18	殴り抜ける	520	38	破り抜ける	25	58	叩き抜ける	6
19	掘り抜ける	399	39	病み抜ける	25	〃	乗り抜ける	6
20	差し抜ける	298	40	進み抜ける	24	60	昇り抜ける、 彫り抜ける、 戻り抜ける	5

5. 「V1-抜ける」の意味

コーパス調査の結果から分かるように、「V1-抜ける」のV1には「駆ける」、「通る」、「走る」のような主体の移動を表す動詞が来て、主体がV1の行為をしながらある地点や空間を通過することを表す用法が多い。その他、「突く」、「切る」、「言う」、「売る」など一部の他動詞も来るが、「V1-抜ける」の形になると意志的自動詞の用法となる。これらの「V1-抜ける」はいずれも本動詞「抜ける」の突破の意味から派生したものであると考えられる。本稿では「V1-抜ける」を次の8つに分類する。

「V1-抜ける」

- ・「貫通」：〈物〉ガ〈障害物〉ヲ「V1-抜ける」
物体がV1して障害物を貫通することを表す。
(例) (矢が的を) 突き抜ける、(打球が三遊間を) 転がり抜ける
- ・「勝負の突破」：〈人〉ガ勝負で〈ある段階〉ヲ「V1-抜ける」
人が勝負でV1(勝つ)してある段階を突破することを表す。
(例) 勝ち抜ける
- ・「空間の突破」：〈人〉ガ〈空間：障害物〉ヲ「V1-抜ける」
人がVして障害物となる空間を突き通ることを表す。
(例) (敵陣を) 走り抜ける、駆け抜ける、(人ごみを) 通り抜ける
- ・「空間の通過」：〈人や風〉ガ〈経由地〉ヲ「V1-抜ける」
人や風がV1してある空間(障害物の意味はない)を突き通ることを表す。
(例) (人が裏道を) 通り抜ける、(風が家の中を) 吹き抜ける
- ・「通り抜け」：A地点からB地点まで〈交通路〉ガ「V1-抜ける」(テイル形が普通)
交通路がA地点からB地点までV1(通る)していることを表す。
(例) (山の向こうからこちらまでトンネルが) 通り抜けている
- ・「卓越」：〈人や物の能力や質〉ガ同類他者ヲ「V1-抜ける」
人や物の能力や質が同類他者をV1して超越することを表す。
(例) (成績が) 飛び抜ける、(能力が) 突き抜ける
- ・「離脱」：〈人〉ガ〈困難な事態〉ヲ「V1-抜ける」
人がV1(ピンチを切る、言いつくろう)して困難な事態を抜け出すことを表す。
(例) 切り抜ける、言い抜ける
- ・「売り抜け」：〈人〉ガ為替・証券・先物取引において「V1-抜ける」
人が為替・証券・先物取引において評価益の発生しているうちに対象品を売って(=取引を抜け出て)利益を得ることを表す。(逆が「買い抜け」)

(例) 売り抜ける、買い抜ける

このうち、最後の「売り抜け」と「買い抜け」は経済用語で、次の(1)、(2)のように使われる。

- (1) 売り抜け (売り抜けた) とは外国為替取引、証券・先物取引において、取引対象を買い持ちしている状態でそのポジションに評価益が発生している状態の時に売り決済(利食い)したことをいう。例えば、「118円でドル/円買って120円で売り抜けた」などと表現される。

(<http://www.k3.dion.ne.jp/~forex/glossary/urinue.htm>) 2013/6/17

- (2) この会社は、めばしい企業の株の空売りを仕掛け、株価が下がったところで買い抜ける。安く買って高く売る原理の逆順で、正当な売買なのだが、問題は、これが企業破産の原因となることがあることだ。

(<http://d.hatena.ne.jp/mighty53/20120924>) 2013/9/5

このほか、「V1-抜ける」には(3)～(6)の「踏み抜ける」、「生き抜ける」、「殴り抜ける」、「掘り抜ける」などの用法も見られる。これらは普通他動詞形の「踏み抜く」、「生き抜く」、「殴り抜く」、「掘り抜く」を使うのが自然であるが、自動詞形の「V1-抜ける」を使うことにより、動作主の行為ではなく対象の変化に焦点を当てた表現にする効果がある。

- (3) 「・・・罌はなかったけど、床の木が腐ってて踏み抜けた」

(<http://ch.nicovideo.jp/hinokimoti/blomaga/ar194188>) 2013/7/25

- (4) 「自己主張せずに生き抜けていく戦略を選びながらも主張だけはできる」

(<http://blog.lv99.com/?eid=646477>) 2013/6/22

- (5) あごから鼻に抜けるコースを全力で殴り抜ける

(<http://workingnews.blog117.fc2.com/blog-entry-3366.html>) 2013/7/21

- (6) この水を岩崎谷を経て城山を掘り抜けて現在の黎明館の鶴丸城内に運んでいた。

(<http://www.city.kagoshima.med.or.jp/ihou/549/549-5.htm>) 2013/7/26

6. まとめ

以上、本稿では「V1-抜く」のアスペクト的用法および「V1-抜ける」の意味について論じた。以下、これらについてまとめておく。

「V1-抜く」のアスペクト的用法

・「行為の完遂」

動作動詞に付いて、主体が自分に降りかかる困難な事態を振り払い、V1の目的を成し遂げることを表す。

(例) 生き抜く、勝ち抜く、考え抜く、守り抜く

・「極度」

主体の感情を表す状態進展動詞に付いて、主体の精神的状態が途中で止まらずに極限まで達することを表す。(一般的水準を突き抜けた感情を表す)

(例) 知り抜く、愛し抜く、惚れ抜く、困り抜く

「V1-抜ける」

・「貫通」：〈物〉ガ〈障害物〉ヲ「V1-抜ける」

物体がV1して障害物を貫通することを表す。

(例) (矢が的を) 突き抜ける、(打球が三遊間を) 転がり抜ける

・「勝負の突破」：〈人〉ガ勝負で〈ある段階〉ヲ「V1-抜ける」

人が勝負でV1(勝つ)してある段階を突破することを表す。

(例) 勝ち抜ける

・「空間の突破」：〈人〉ガ〈空間：障害物〉ヲ「V1-抜ける」

人がVして障害物となる空間を突き通ることを表す。

(例) (敵陣を) 走り抜ける、駆け抜ける、(人ごみを) 通り抜ける

・「空間の通過」：〈人や風〉ガ〈経由地〉ヲ「V1-抜ける」

人や風がV1してある空間(障害物の意味はない)を突き通ることを表す。

(例) (人が裏道を) 通り抜ける、(風が家の中を) 吹き抜ける

・「通り抜け」：A地点からB地点まで〈交通路〉ガ「V1-抜ける」(テイル形が普通)

交通路がA地点からB地点までV1(通る)していることを表す。

(例) (山の向こうからこちらまでトンネルが) 通り抜けている

・「卓越」：〈人や物の能力や質〉ガ同類他者ヲ「V1-抜ける」

人や物の能力や質が同類他者をV1して超越することを表す。

(例) (成績が) 飛び抜ける、(能力が) 突き抜ける

・「離脱」：〈人〉ガ〈困難な事態〉ヲ「V1-抜ける」

人がV1(ピンチを切る、言いつくろう)して困難な事態を抜け出すことを表す。

(例) 切り抜ける、言い抜ける

・「売り抜け」：〈人〉ガ為替・証券・先物取引において「V1-抜ける」

人が為替・証券・先物取引において評価益の発生しているうちに対象品を売って

(=取引を抜けて) 利益を得ることを表す。(逆が「買い抜け」)

(例) 売り抜ける、買い抜ける

付記：本稿は平成 22-25 年度科学研究費補助金（基盤研究（B））（課題番号 22320093）による研究成果の一部である。

注

- 1) 「動作動詞」、「変化動詞」、「状態進展動詞」の違いについては杉村（2008）を参照。なお、杉村（2008）では「状態進展動詞」を「状態動詞」と呼んでいたが、「状態動詞」は「ある」、「できる」などを指すのが普通であるため、「状態進展動詞」と言い直すことにした。
- 2) 「知る」は「知らない→知る→もう知っている」という主体の知的変化を表すため、普通は「変化動詞」に分類されると思われる。しかし、「知り抜く」の場合は「少ししか知らない→全て知る→全て知っている」という事態の変化過程を表すため、この場合の「知る」は状態進展動詞として機能していると考えられる。
- 3) 「知り尽くす」の場合は「知らないことがある→全て知る→これ以上知ることはない」という事態の変化過程を表すため、この場合の「知る」は動作動詞として機能していると考えられる。そもそも、杉村（2008）の「動作動詞」、「変化動詞」、「状態進展動詞」は、いずれも V1 の開始以前の段階を「まだ V1 していない」のようにテイナイ形で表されるものであった。しかし、「知る」の場合は知り始める前の段階を「*知っていない」ではなく「知らない」のようにルのナイ形で表される点でこれら 3 つの動詞とは異なる。そのため、「知る」に関しては別に考え直した方がいいのかもしれない。
- 4) 「駈抜ける、駈け抜ける、駈けぬける、駈け抜ける、駈けぬける、かけぬける」のように表記の違うものも、同じ意味で使われているものはまとめて集計してある。

参考文献

- 小泉保・船城道雄・本田晶治・仁田義雄・塚本秀樹（1989）『日本語基本動詞用法辞典』、大修館書店
- 杉村 泰（2008）「複合動詞「-切る」の意味について」『言語文化研究叢書』7、名古屋大学大学院国際言語文化研究科、63-79
- 杉村 泰（2009）「コーパスを利用した複合動詞「-尽くす」の意味分析」『名古屋大学言語文化論集』第 31 巻第 1 号、名古屋大学大学院国際言語文化研究科、83-95
- 杉村 泰（2012）「コーパスを利用した複合動詞「V1-通す」の意味分析」『名古屋大学言語文化論集』第 34 巻第 1 号、名古屋大学大学院国際言語文化研究科、47-59
- 杉村 泰（2013）「コーパスを利用した複合動詞「V1-抜く」の意味分析」『名古屋大学言語文化論集』第 35 巻第 1 号、名古屋大学大学院国際言語文化研究科、49-64
- 田忠魁・泉原省二・金相順（編）（1998）『日本語類似表現のニュアンスの違いを例証する類義語使

い分け辞典』, 研究社

陳 毓瑾 (2011) 『日本語複合動詞「～抜く」、「～切る」、「～通す」の意味分析』 國立政治大學日本語文學系碩士學位論文

姫野昌子 (1999) 『複合動詞の構造と意味用法』, ひつじ書房

森田良行 (1989) 『基礎日本語辞典』, 角川書店